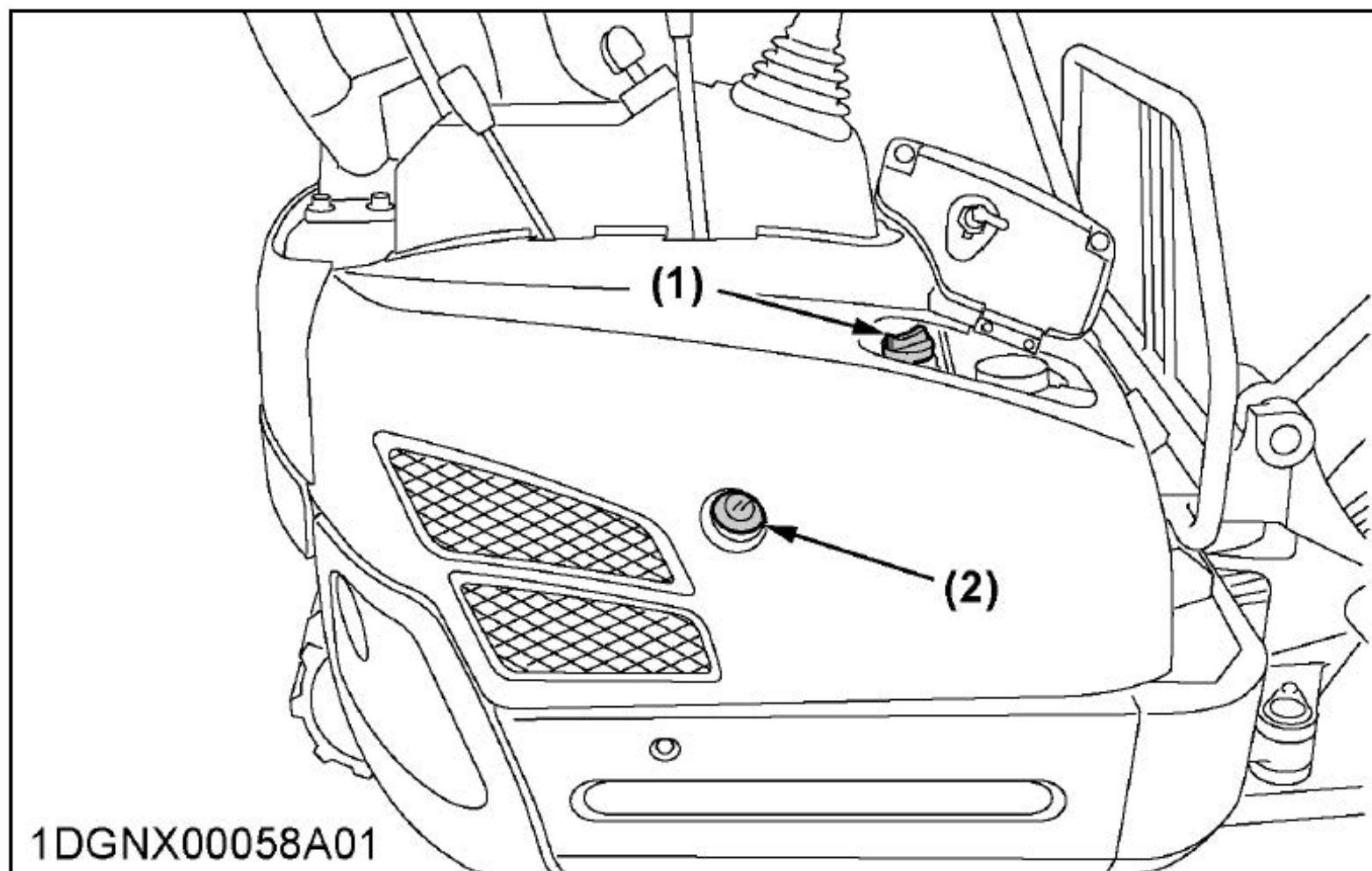


3. 作動油が、常温（10℃～30℃）において油面計の中央になっているか点検します。
油面計の中央にあれば正常です。
4. 不足しているときは、給油口より補給します。

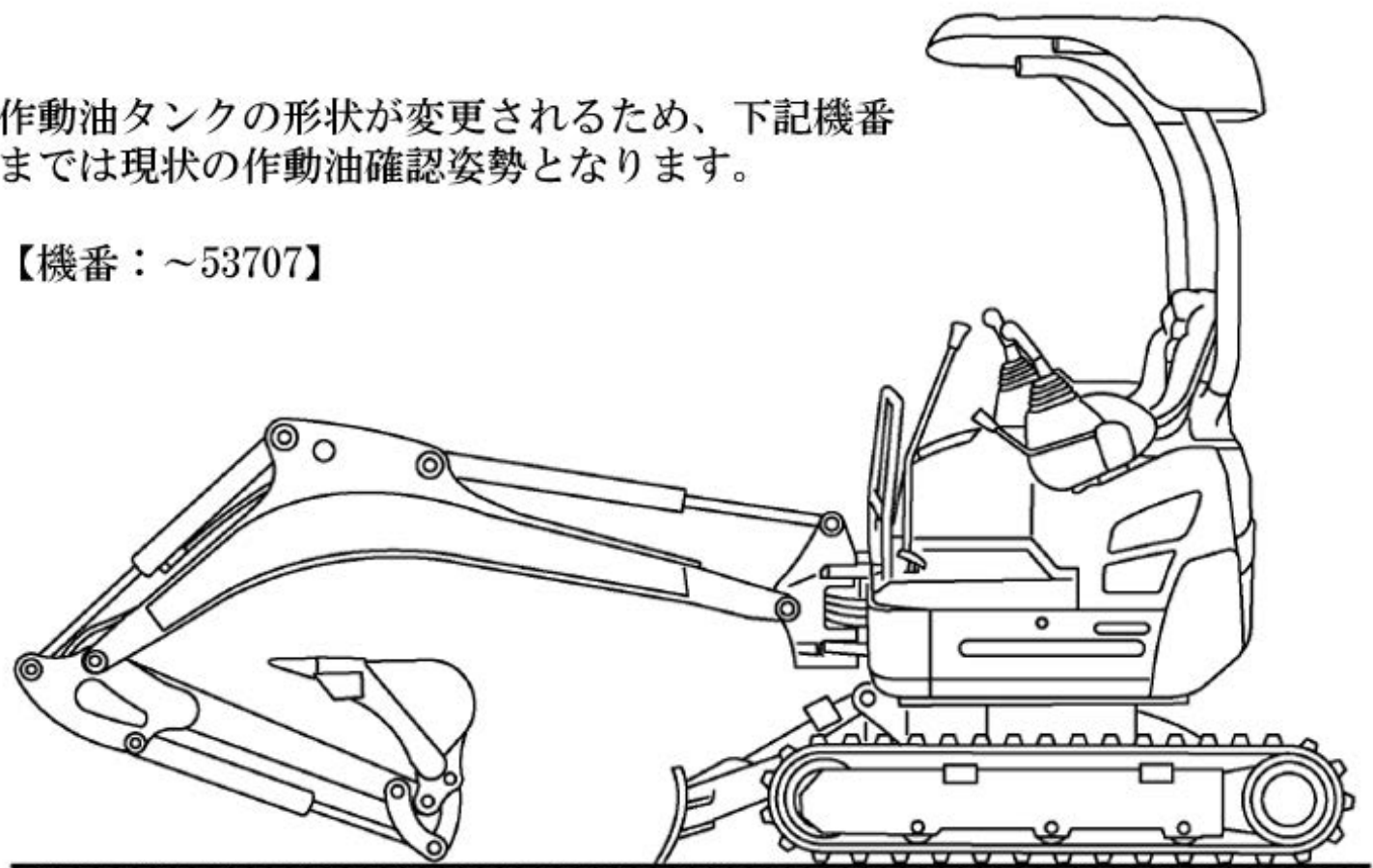


- (1) 給油口
(2) 油面計

1. 足幅を最伸（1240mm）にしてください。
2. 機体を水平な所に止め，フロント部はスイング中央，アームとバケットを最大かきこみにして，バケットリンク及びブレードを地面に接地させます。

作動油タンクの形状が変更されるため、下記機番までは現状の作動油確認姿勢となります。

【機番：～53707】

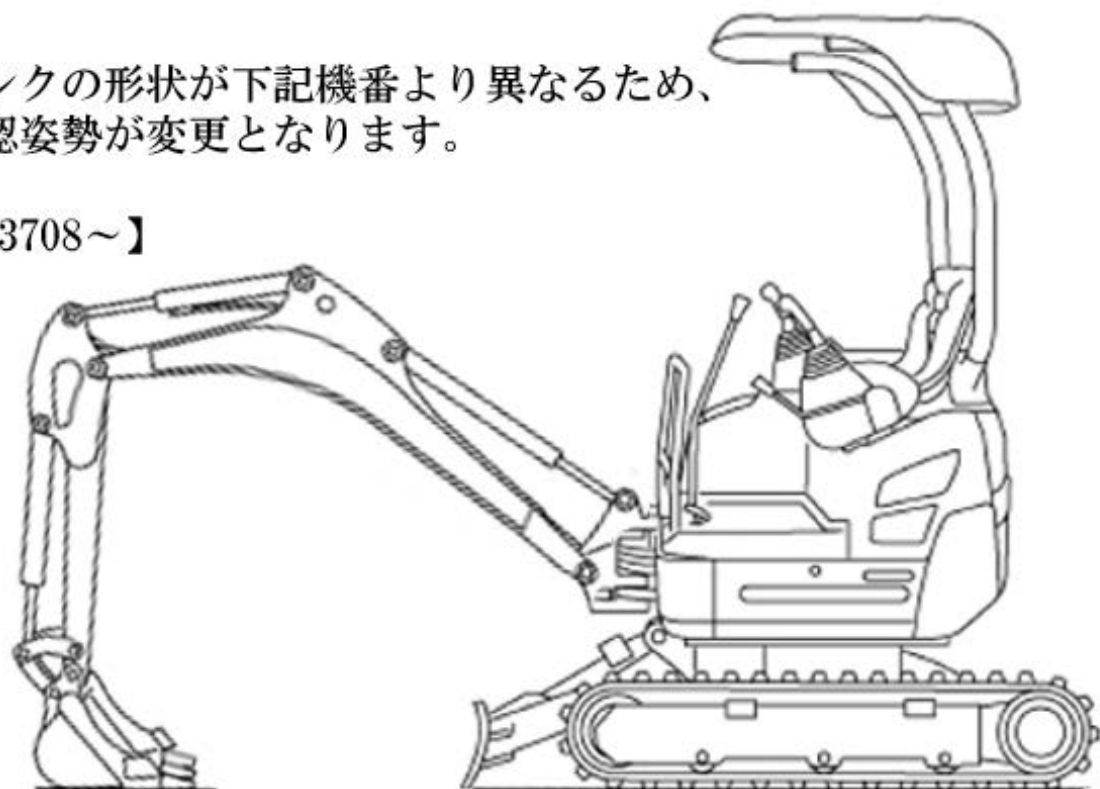


1BAABAYAP086A

1. 足幅を最伸（1240 mm）にします。
（詳細は足伸縮操作（57 ページ）を参照）
2. 機体を水平な所に止め、各シリンダのロッドをほぼ中央まで伸ばし、バケットおよびブレードを地面に接地させます。

作動油タンクの形状が下記機番より異なるため、
作動油確認姿勢が変更となります。

【機番：53708～】



1AKBG00036A01